

会 議 録

会 議 名 称	第2回 登米市総合計画審議会
開 催 日 時	平成26年5月20日(火) 午前10時開会 午後零時15分閉会
開 催 場 所	登米市役所南方庁舎 2階 大会議室
議長(会長)の氏名	公立学校法人宮城大学 教授 徳永幸之
出席者(委員)の氏名	公立大学法人宮城大学 教授 徳永幸之【会長】 登米市子ども・子育て会議 委員 鹿野良子 登米市都市計画審議会 会長 遊佐正克 登米市景観形成会議 会長 西條多美子【副会長】 登米市男女共同参画審議会 委員 須藤明美 宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所 所長 加藤慶太 登米市中学校長会 山形利文 特定非営利活動法人登米市体育協会 会長 佐々木 猛 登米市文化協会 理事長 鈴木敬一 登米市民生委員児童委員協議会 理事 關 嘉基 登米市医師会 顧問 石井 宗彦 登米地域商工会連絡協議会 会長 今野秀俊 一般社団法人登米市観光物産協会 会長 阿部泰彦 登米市環境市民会議 地球温暖化対策部会 菅原亜希子 登米市コミュニティ推進連絡協議会 会長 尾形重雄 公益社団法人 とめ青年会議所 理事長 齋藤 力 以上16人
欠席者(委員)の氏名	社会福祉法人登米市社会福祉協議会 事務局長 菅原晴男 登米市食生活改善推進員協議会 副会長 千葉みどり 宮城北部流域森林・林業活性化センター登米支部 支部長 芳賀 稔 みやぎ登米農業協同組合 総務部長 星 郁男 以上4人
事務局職員職氏名	登米市長 布施孝尚 企画部 部長 秋山茂幸 企画部企画政策課 参事兼課長 佐藤裕之 企画部企画政策課 課長補佐兼企画政策係長 新田公和 企画部企画政策課 企画政策係 主査 千葉道宏 企画部企画政策課 企画政策係 主事 金澤健治

議 題	<p>【報告事項】</p> <p>(1) 第一次登米市総合計画の施策検証の結果について</p> <p>(2) 登米市まちづくり市民意向調査結果及び満足度分析結果について</p> <p>(3) 「第一次総合計画の施策検証結果」と「まちづくり市民意向調査結果」の考察について</p> <p>【協議事項】</p> <p>(1) 第二次登米市総合計画（まちづくりの基本方向等）の骨子（案）及び構成（案）について</p> <p>(2) 「登米市の将来像」の検討について</p> <p>(3) 第二次登米市総合計画における目標人口の設定について</p>
会 議 結 果	<ul style="list-style-type: none"> ・報告事項の（1）から（3）まですべて了承された。 ・協議事項の（1）から（3）まですべて了承され、引き続き検討することとなった。
会 議 経 過	別添のとおり

会議資料	<p>【配布資料】</p> <p>資料1 第一次登米市総合計画施策検証報告書</p> <p>資料2 まちづくり市民意向調査結果及び満足度分析結果</p> <p>資料3 「第一次総合計画の施策検証結果」と「まちづくり市民意向調査結果」の考察</p> <p>資料4-1 第二次登米市総合計画（まちづくりの基本方向等）の骨子（案）</p> <p>資料4-2 第二次登米市総合計画の構成（案）</p> <p>資料5 登米市の将来像</p> <p>資料6 第二次登米市総合計画策定スケジュール（平成26年度詳細版）</p> <p>参考資料 第二次登米市総合計画に係る人口推計</p>
発言者	議題・発言・結果
	<p>■委嘱状の交付</p> <p>○加藤慶太委員、山形利文委員、石井宗彦委員</p>
市長	<p>■市長あいさつ</p> <p>○3名の委員に委嘱状を交付した。</p> <p>○合併して10年の節目の年を迎え、新しい次の10年をこれまでの課題、現状を検証しながら、新しい取り組み、新たな視点の中で、さまざまな施策を講じていかなければならない。</p> <p>○第一次計画策定時には、大きな震災や社会情勢の変化などは予測できなかったわけではない。これから10年間のまちづくりには、これまでに経験した課題に対して真剣に向き合い、その解決を具体的に進めていかなければならない。</p> <p>○第一次総合計画の施策検証の結果、市民意向調査結果による実状をお知らせしながら、審議にあたっていただきたい。</p> <p>○過去を検証しながら、しかし、過去にこだわるだけでは新しいまちをつくっていくことはできない。ぜひ皆様のご研鑽とご指導を賜り、第二次総合計画策定にあたりご尽力をお願いしたい。</p> <p>○皆様方の取り組みに改めて敬意と感謝を申し上げます。</p>
	<p>■委員紹介</p> <p>○今回委嘱された委員を紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加藤慶太委員 ・山形利文委員 ・石井宗彦委員
会長	<p>■議事</p> <p>○登米市総合計画審議会条例第6条2項の規定に基づき、16名の委員の出席により、会議の成立を確認する。</p> <p>○議事録の署名人は、名簿順に2名ずつ指名する。今回は、遊佐正克委員と須藤明美委員にお願いする。</p>
	<p>■報告事項「（1）第一次登米市総合計画の施策検証の結果について」事務局説明後、質疑応答を行う。</p>
委員	○記号の使い分けで、白い部分は何か。
事務局	○ソフトとハードの施策で、色を分けている。
会長	○5ページ以降の表は、3ページの施策ごとの評価ということでよいか。

事務局	○そのとおり。
	■報告事項「(2) 登米市まちづくり市民意向調査結果及び満足度分析結果について」 事務局説明後、質疑応答を行う。
会長	○「救急医療体制の充実」は領域Bとなり、「消防救急・救助体制の充実」は領域Aとなっている。同じ救急でも医療時間に対するの重要性は高いが、満足されていない。
委員	○「まちづくり市民意向調査結果及び満足度分析結果」をこれから市民にどのように周知、広報していくのか伺いたい。
事務局	○意向調査の結果は、広報紙に掲載する。また、ホームページの中では調査結果報告書をファイル化して閲覧できるようにする予定である。
委員	○それはいつ頃か。
事務局	○6月議会に意向調査結果を報告したのち、7月ごろを目途にと考えている。
委員	○すばらしい内容であるが、できれば、字句、数字ばかりではなく、イラスト等を入れて、楽しく読めるようにしてほしい。
委員	○30～40%の人から回答を得られてなく、この人達の意見は結果に反映されていない。この人達の意見を批判的、ネガティブな考えを持った人が多いと思うが、どのように考えているのか。
事務局	○前回よりも回収率が下がっており、ネガティブに考えている人も多いとのこと想定している。 ○総合的な市民の意向を把握するとの目的から、今回得られた回答を重視していきたい。
委員	○そのとおりであると思う。市の考え方を確認したかった。
委員	○自由意見について、分析された結果なのか。生の声を聞きたい。
事務局	○自由意見はまだ整理中である。ご了承願いたい。
委員	○49頁に満足度と重要度の表現がある。満足度は理解できるが、重要度は何を基準としているものなのか。
事務局	○それぞれの施策等に対して、どの程度重要であるのかということ、主観的に回答を頂いたものである。
委員	○市の主体的な判断はないのか。市民の判断だけで重要であるのか、ないのかということが一人歩きしてしまうことが心配である。
事務局	○危惧されていることは考えられると思う。 ○調査結果の公表は、これまでも48頁までとしている。49頁以降は、今後の施策を検討していく上での判断材料として活用していくものとなる。
委員	○この結果では、青少年の健全育成は重要ではないとされている。このような結果がそのまま公表されてしまっは大変なことになると思われぬのか。市の考えを出さないまま、公表されることに危惧している。
事務局	○市民意向調査は、調査時点の社会経済情勢が大きく影響するものであり、市民の生活に近い分野ほど、総合的に数値が低く表れる傾向にある。第二次総合計画の策定に際して、このようなことを踏まえながら、検討していきたい。また、公表していきたい。
委員	○公表に際しては、登米市の考え方・方向性を示し、アンケート結果からだけでプライオリティが決められるものではないものとしてほしい。

事務局	○そのように努めていきたい。
会長	○重要度の基準点が平均値でよいのかどうか。重要だとする3点以上になってもそれが平均値での区分にすると、重要度が低い判定になってしまう。誤解を与えかねないので、表現を注意する必要がある。 ○分野によっては無関心な人の意見が総体的な結果に影響する場合もある。項目によって、注意深い分析、判断が必要となるので、このことを踏まえた上で、計画に意見を反映させていきたい。
	■報告事項「(3)「第一次総合計画の施策検証結果」と「まちづくり市民意向調査結果の考察について」 事務局説明後、質疑応答を行う。
会長	○市民意向調査との関係や、各委員の感覚、日頃係っていることなどを踏まえて意見を伺い、計画策定に反映していきたい。
委員	○回収率が7割近くあり多くの回答を得ているが、回収率は前回より下がっている。地域や年代など、下がっている要因を考える必要がある。 ○重要度が低いとの記述があるが、大差があるわけではない。表現について配慮する必要がある。また、アンケートの結果だけではない、関係者や市の担当者の意見を聞きながら考え、判断をしていく必要がある。
委員	○施策検証結果に「順調」とあるが、疑問に思う。ある分野ではそうなのかもしれないが、もっと手厚くしなければならないものもあり、順調という分野も見過ごしてはいけないと思う。教育の分野をみてそのように思った。
委員	○アンケートなどをまとめて、これからどうするのか。アンケートも大事であるが、登米市の将来展望をどのように考えるのかを市で示してほしい。それによって審議会でも活発な意見がでると思う。
事務局	○今後、計画をステージごとに、計画の原案・素案・案を策定していくこととなる。そのため、市と委員が現状などの情報を共有する下地づくりになる資料・データとなるものである。 ○登米市の将来デザインは、これまでの検証や現状を見つめながら検討し、逐次、示していき議論していただきたいと考えている。その前段となるのが本日の審議会の内容であると理解いただきたい。
	【休憩】
	■協議事項「(1)第二次登米市総合計画(まちづくりの基本方向等)の骨子(案)及び構成(案)について」 事務局説明後、質疑応答を行う。
会長	○資料4-1にある第一次計画の主な施策の充当先は、作業用に見ておくものという理解でよいか。
事務局	○第二次計画では、第一次の6分野から5分野に変更していることから、項目・内容ともに、大きく移動しているものもある。これが基本事業に位置付けられるものとなる。
委員	○今までは、子育てと教育がばらばらになっていたが、第二次の案では一緒になっている。ひとつの将来像が描けるので評価したい。 ○この先、審議会の意見はどのように取り上げられて、反映されるのか。
会長	○全体スケジュールと合わせて、作業をどのように進めていくのか、説明願いたい。
事務局	○審議会には、市でたたき台を作成し、会議に提示していく方針である。作業、

	<p>検討の過程については、常に審議会に報告させて頂いている。その都度、意見を伺うこととなり、それをワーキング、連絡調整会議などで検討していくこととなるので、忌憚の無い意見・提案をその都度頂きたい。</p> <p>○次回は8月上旬を予定している。</p>
委員	<p>○教育分野では「生きる力と豊かな創造力を学び人が「そだつ」まちづくり」とまちづくりの基本方向にあるが、これも修正案を提案しても良いということか。創造力を学ぶという言葉は馴染まない。</p>
事務局	<p>○全体を網羅した上で、意見を伺いたいと思っている。</p> <p>○ただいまの意見もこの場では回答は控えさせて頂くが、検討の際には参考にさせて頂きたい。</p>
委員	<p>○まちづくりの基本方向のテーマなど、きれいにまとめて形にこだわる必要はない。市として、どのような施策を重点的に進めていくのか、アウトラインを見せるところである。形にこだわると計画も小さくなる。</p> <p>○本日の進め方について、審議の時間構成としては良くないと思う。基本構想と論の展開が一番頭を悩ますところであり、何回議論してもいいとこであり、ここが決まらなると次に進めない。</p> <p>○資料4-2では計画・目標期間が入っていない。先ず先に示すべきものである。</p> <p>○基本理念、将来像がすでに描かれているが、ここも重要なところである。市長・登米市の考えが、一目でわかるようにしておくところである。</p> <p>○基本理念、将来像が重要であるならば、まちづくりの基本方向の並びがおかしい。この部分を議論していく時間が貴重であると思う。問題提起させて頂く。</p>
会長	<p>○ご意見のとおり、基本理念、将来像から議論を進めるべきだと思う。これをたたき台に、また、下にぶら下がる個別の施策を眺めながら適切な表現、順序にしていきたい。</p> <p>○「市民協働」については、他の4つの方向性を括るものであって、他の項目と別の次元で扱われるものと感じている。ここの見せ方もどうするのか、難しいところである。</p> <p>○資料4-2の3頁の中で、まちづくりの方向性を文章で説明しているところの書き方が重要であり、審議会でも議論した上で、メッセージ性を出していくべきところであると思う。</p> <p>○次に数値目標があるが、単に目標数値を定めて、その達成度の評価になるというだけだと違和感がある。その前提として全員で将来像が共有されていなければならない。</p> <p>○この議論が十分に出来る状況に今はなっていないので、これを意識して各委員においても資料を見直して頂き、次回以降の議論に生かしていただきたい。そのためには、審議会の前に意見を出していただきたい。</p>
事務局	<p>○基本理念、将来像は前回計画のままで、計画の体系を示す例示としており、案としているわけではない。</p> <p>○まちづくりの方向についても、基本理念、将来像の検討を踏まえた上で、順番等も検討していくものと考えている。</p> <p>○次回、ワーキングや策定委員会などで細かな検討を進めていくことから、もう少し見えるもの、肉付けしたものを示すことができると思う。</p>

委員	<p>○構成として、資料4-2の1、2頁があり、次に4頁の全体の体系を見せる必要がある。</p> <p>○3頁まちづくりの基本方向は4頁の後にして、文言だけでよい。体系を図示する必要はない。</p> <p>○4頁の計画の体系では、基本理念と将来像の違いが分からないので、説明をする必要がある。「まちづくりの基本方向」の右に「政策の分野・政策（個別分野）」、「施策の分野・施策」とあり、非常に分かりづらくなっている。「まちづくりの基本方向」に沿った取組・施策を載せたほうが、一般市民には分かりやすい。</p> <p>○6頁では「目的と方針」「現況と課題」が逆だと思う。</p> <p>○計画の体系図を最初に作ったほうが、後々作業がやりやすくなる。これを1枚作るだけでも審議会で相当な議論が必要となり、その想定でもってスケジュールを作ったほうがよい。</p>
会長	<p>○分野が先に出てきており、縦割りになってしまっているのではないかと印象を受けてしまう。目標を実現するためには複数の部署が関わり、うまく調整していくことが重要である。このようなことも踏まえて、書き方について今後の議論を進めていければよいと思う。</p>
委員	<p>○将来像「夢・大地・みんなが愛する水の里（生き生き健康都市 登米）」のキャッチコピーは今後もずっと使っていくのか。長生きするということはコストがかかる。</p>
事務局	<p>○第一次総合計画で謳っている将来像を示している。今後、これを変更することも含めて内部で検討していくこととなる。</p>
	<p>■協議事項「(2)「登米市の将来像」の検討について」 事務局説明</p>
会長	<p>○基本理念はそのままいくのか。将来像から決めていくのか。</p>
事務局	<p>○将来像に触れる意見は多くいただいている。関連することであることを視野に入れて検討を進める。</p>
委員	<p>○健康で長生きするということはコストがかかるということ。それに対処する施策などが必要となり、健康であることがいけないということではない。</p>
会長	<p>○このことも含めて審議会の中で議論していくこととなる。</p>
	<p>■協議事項「(3)第二次登米市総合計画における目標人口の設定について」 事務局説明後、質疑応答を行う。 (特に意見なし)</p>
会長	<p>○内容についての本格的な議論は次回以降になる。今後タイトなスケジュールとなるが、しっかりした議論を積み上げていきたい。また、審議会の進め方についても工夫が必要と考える。</p>
委員	<p>○スケジュールの中に、具体的な議論の内容を書き込んでいかないと会議が進まないと思う。次が8月となっているが、その前でも構わない。進め方を会長と事務局、あるいは市長と練って、実行されるよう先行きを示すようお願いする。</p>
会長	<p>○全体の議論とは別に、部会形式でそれぞれの分野で協議を進めることも考えなければならない。進め方は事務局と相談し、次回開催としたい。</p>
	<p>■その他について説明</p>

事務局	<p>○市民意向調査、施策検証の取りまとめのためにスケジュールが1か月遅れ、内部の検討も十分ではなかった。今後の進め方、次回開催時期・内容についても、会長及び副会長と検討して進めていきたい。</p> <p>○各種団体意見交換会は、7月に実施予定である。日程が決まり次第、各委員にも開催の案内をする予定である。</p>
副会長	<p>■閉会のあいさつ</p> <p>○長時間に渡り、貴重な意見をいただいたことに感謝する。</p> <p>○新しい委員には、気づかないところにも多くの意見をいただくことができた。</p> <p>○第一次計画の検証を踏まえた上で、より良い計画を策定していきたい。</p>